

京都

Kyoto Dayori

だより



向日神社



● けんくつれ草 第196回
怪我と入院

● 事業案内

令和4年度 監理技術者講習

2022年度 第2回

すべての建築士のための総合研修

藤井厚二・八木邸、

枚方宿の町並みと鍵屋資料館見学会

令和4年度 国内研修旅行 岐阜をめぐる

建築家セミナー2023 末光弘和/SUEP

● 報告

(一社)京都府建築士会 創立70周年記念事業

第40回 近畿建築祭 京都大会

街歩き、黄金比を探せ。

集合住宅の長期マネジメント計画意見交換会

● 特集

住宅まわりの

『中間領域』の実態について

―子育て世帯の利用に関する調査から

● お知らせ

入会キャンペーン

会費納入方法の変更について

● うちの本棚・今月の一冊

『青華 伊東豊雄との対話』

● 募集 「京都だより」作品紹介ギャラリー

● 表紙のこぼれ 『向日神社の桜』

March
2023
No.560

3

第百九十六回 加茂みどり

つれづれ草

かも・みどり

京都大学大学院
工学研究科建築学専攻博士課程修了
博士(工学)・一級建築士
(一社)京都府建築士会 会員
追手門学院大学 地域創造学部 教授
岡山県立大学・大阪商業大学 非常勤講師

大怪我、とは言えないのかもしれない。マンションの共用階段を踏み外し、転落。落ちている間はスローモーション。「あゝ、掴めるところがない！ヤバイ！」と思った次の瞬間、大打撃。身体が動かない。通りがかった居住者に見つけていただき、その後駆け付けた管理人さんに「救急車を呼びますよー」と声をかけられ、自分の状況が把握できないまま病院に搬送。幸い、強く打った頭部には大きなタンコブができただけで、左肩近くの鎖骨骨折ということだった。

死なずにすんでよかったのだが、なかなか大変。左肩というより、左上半身が動かない。少しずつ全身の打ち身はマシになるが、以前のようには自由に動けるはずもない。幸い家事全般は子ども達に頼めたが、子どもが乳幼児期ならどうなっていたのだろう。考えただけで恐ろしい。

さらに手術が必要とのことだが手術室が空いていない。手術の予約ができたのが骨折から12日後。「骨折は、折ってから2週間以内に手術できたら大丈夫ですから！」と明るく宣言するお医者さまに大量の痛み止めを処方していただき、自宅待機12日間。その間、後悔先に立たずというが、大変悔しい思いが沸き上がる。少し疲れが溜まっていた。少し急いでいた。そんな条件も重なったが、やはり歳だろうか。身の程をわきまえ、気をつけなければとしみじみ思う。そして、人間の身体など、本当に脆いものだった。ただかか4、5段落ちたのだと思うが、簡単に骨折してしまった。

前日から入院し、手術を受けたのが暮れも押し詰まった12月28日。私は鎖骨骨折の手術を軽く見ていたが、甘かった。まず全身麻酔。眠って起きたら手術は終わっていたが、覚めても左半身が全く動かず、これはなかなか恐ろしい。右手で左腕を触ってみても、全く触られている感覚がない。左手をここに置いている、と思っただけ場所。自分の左手はない。麻酔だから、必ず

感覚は戻るとわかっていても、もしこのままだったら・・・という思いがよぎる。微動だにできず過ごす夜は長い。

先に人間の身体は脆いものだと言いたが、ここから人間の強さを感じるようになる。そんな不安な夜も過ぎ、退院するまでに徐々に身体感覚はもどり、手術2日後にはキャリーバックに荷物を詰めると、スタスタと歩いて帰るのだから、本当に医療に感謝。しかし人間の強さを感じたのは私のことではない。寝たきりの間、斜め向かいの女性がずっと仕事の電話をされていた。かなりテキパキと明確な指示をされている。寝たきりの私はその声をぼんやりと聞くだけだったが、退院時にご挨拶をとカーテンの向こうに声をかけ、どうぞと言われてのぞいてみると、70代、しかも後半かと思われる高齢の女性であった。おっしゃるに、「私、3階から落ちましてん。」

「ど、どうやって？」

「自社工場に3階から1階までの階段がありますねん。そこで荷物かかえて降りようとして。落ちたあとと覚えてませんわ。」

「あ・・・。」

「体中の骨、バキバキに折りましたん。折ってへんの、右足だけ。首の骨も折りましたん。」

「え、え？」

「首の骨の後ろ側が折れてたら、下半身不随やったらしいんですけど、私、前の方が折れたから無事でしてん。ほんまに、よう生きてますわ。」

・・・おっしゃる通りです。よくぞ、お命ご無事で。

「電話で、うるそうして、すみませんでしたなあ。なんの準備ものうて、こんなことになって、息子夫婦に電話でいろいろ教えて、大変ですわ・・・。」

「もうすぐ私、リハビリ専門の病院に転院しま

すねん。」
体の脆さに落ち込みながら入院したが、人間の強さに感動して退院することになった。

もう一つ、入院して感動したことがある。私は今年度、「ユニバーサルデザイン論」という授業を担当しているのだが、自分が教えている福祉用具や器具を全て見たことがあるわけではない。入院時、目の前を大型用具が通り過ぎる。「わ、床走行式リフト、初めて見た！」

さらに、ベッドでの就寝を考えたとき、半身に麻痺があると、麻痺側でのベッドの上り下りできない。ベッドから降りるのは、身体の健側であることを前提に室のレイアウトを決める必要がある・・・と教えていても、自分が片麻痺になったことはなかった。「ホントだ、麻痺側へはベッドから降りれない！」

そして、先の女性の話。「階段は、必ず踊り場を設けるか、折れ曲がり階段とすべきである。踊り場なしに、一気に直行で下に降りる階段は、転落時に一気に下まで落ちてしまうことになり、危険である。」嘘は教えていなかった。

出産時にある先生に声をかけていただいた。「建築をしてるとね、子どもを産んでも、家事をしても、病気になるっても、全部勉強になるのよ。だから、出産で休まなきゃならないなんて、思ふ必要ないのよ。」ありがたい言葉を思い出した。

怪我と入院

令和4年度 監理技術者講習

事業委員会

- C P D 6単位
- 日 時 第3回 3月9日(木)
受付開始／午前9時
運営説明／午前9時20分～9時30分
講習／午前9時30分～午後5時10分
- 会 場 京都建設会館別館 会議室
- 定 員 20名(定員になり次第締切)
- 申 込 (公社)日本建築士会連合会
HPよりお申し込みください。

2022年度 第2回

すべての建築士のための総合研修

研修委員会

- C P D 4単位
- 日 時 3月17日(金)
午後1時～5時
- 会 場 ZOOMによるWEBセミナー
- 受講料 会員／1,000円
一般／2,000円
- ※パスマーケットによる支払い
- 定 員 先着50名
- 申込締切 3月10日(金)
- 内 容
建築士のミッションである「木の文化を大切にする建築、まちづくりの推進」を受けて、従来木造ではできなかった規模な建物についての具体的な事例なども交えて、設計と施工の立場で(株)竹中工務店様、集成材やCLTを使った木造を得意とする銘建工業様、またZEBという視点でパナソニック様から「木を活かした建築づくり」という観点を深掘りする研修として企画します。

藤井厚二・八木邸、枚方宿の町並みと鍵屋資料館見学会

女性部会

- C P D 4単位
- 日 時 3月21日(火・祝)
A：午後0時40分～5時
八木邸→枚方宿まちあるき→市立枚方宿鍵屋資料館(解散)
B：午後1時40分～6時
八木邸→市立枚方宿鍵屋資料館→枚方宿まちあるき(京阪枚方市駅解散)
- 集 合 京阪電車香里園駅
- 見学先 ・大阪府寝屋川市香里園
藤井厚二・八木邸
・大阪府枚方市堤町
市立枚方宿鍵屋資料館
・枚方宿の町並み
- 参加費 会員／2,000円
一般／3,000円
学生：2,000円
- 定 員 A・B 各10名
(定員になり次第締切)
- 申込締切 3月15日(水)
- 内 容
京阪沿線の住宅地・香里園に建つ藤井厚二氏の設計である「八木邸(昭和5年)」は、自然のエネルギーをうまく取り入れ、快適に暮らすことのできる

工夫が詰まった住宅です。また、現存する藤井厚二氏の作品のなかでもオリジナルの家具や調度品など、当時のものが数多く残り、昭和初期の暮らしを今に伝えています。

枚方宿は、旧東海道五十三次の延長部「京街道」の宿場町で、伏見と大坂を結ぶ淀川舟運の中継港でした。地元のまちづくり協議会が活動をおられ、歴史の町並み整備が進んでいます。メインスポットとなる「市立枚方宿鍵屋資料館」は旅人の饗応の場であった料理旅館・鍵屋を公開展示する施設で往時の賑わいを彷彿とさせてくれます。

資料館では学芸員に解説いただくと共に、まちあるきの時間は観光ガイドの案内により街道を散策します。

令和4年度 国内研修旅行
岐阜をめぐる

青年部会 研修・セミナー担当会

- C P D 8単位(予定)
- 日 時 4月15日(土)・16日(日)
- 集 合 京都駅 アバンティ前
- 見学先 岐阜県内
・セラミックパークMINO
・モザイクタイルミュージアム
・国代耐火工場見学
・瞑想の森 市営斎場
・みんなの森ぎふメディアコスモス
・森林総合教育センター(モリノス)
- 参加費 会員／24,000円
一般／29,000円
- 定 員 35名
- 申込締切 3月27日(月)
- 内 容
岐阜県内の建築物見学を通して、建築と町の関わり方について学ぶ旅行企画です。
有名建築でありながら見学機会が制限されている瞑想の森や、隈研吾氏設計のモリノスなど「岐阜には行ったことあるよ」という建築好きの方にとっても、魅力あふれる内容ですので、是非ご参加ください。
※詳細は(一社)京都府建築士会HPからチラシをご覧ください。

建築家セミナー2023
末光弘和／SUEP.～Harvest in Architecture
自然を受け入れるかたち～

青年部会 研修・セミナー担当会

- C P D 2単位(予定)
- 日 時 4月22日(土) 午後2時～4時
- 会 場 ウィングス京都
2階イベントホール
- 参加費 無料
- 定 員 240名
- 申込締切 4月17日(月)
- 内 容
毎年建築家をお招きし開催している本事業で、本年は自然と建築が共生する新しい有機的建築のデザインを手掛けているSUEP.主宰の末光弘和氏にご登壇いただき講演会を開催いたします。

Event 2023
Calendar

4 ← 3

Exhibition
Seminar
Symposium
Event

3 March

- Sun 5 京彩まちあるき+デジタルマップ整備
＜静原地区＞
- Mon 6 常任理事会
- Thu 9 監理技術者講習
- Tue 14 七彩の会
- Fri 17 すべての建築士のための総合研修
- Mon 20 支部長会議・理事会
- Tue 21 藤井厚二・八木邸、
枚方宿の町並みと鍵屋資料館見学会

4 April

- Mon 3 常任理事会
- Sat 15 岐阜をめぐる
(令和4年度国内研修旅行 4/15～4/16)
- Tue 18 七彩の会
- Sat 22 建築家セミナー 2023
末広博和/SUEP.
～Harvest in Architecture
自然を受け入れるかたち～

お知らせ

「京都だより」特集まとめ

(一社)京都府建築士会のホームページで、「京都だより」の特集をまとめたPDFをご紹介します。

※注意：京都建設会館の駐車場は
利用できません

参加申込

電話・FAX、またはホームページからお申し込みください。事業内容の詳細は、ホームページをご確認ください。

(一社)京都府建築士会事務局
TEL075-211-2857 FAX075-255-6077
https://www.kyotofu-kenchikushikai.jp
E-mail:contact@kyoto-kenchikushikai.jp

2022

11/26

Sat

(一社)京都府建築士会 創立70周年記念事業

第40回 近畿建築祭 京都大会

基調講演・トークセッション

近畿建築祭は毎年各府県を巡って開催される近畿の建築士のお祭りです。今年は京都府建築士会が担当でした。前回の近建祭京都大会は全国大会の前年に開催され、全国大会のリハーサル的な意味合いもあつてた。くさんの方にご参加いただきましたが、今回はコロナ禍が収まらない中での開催となり、集客に気をもみました。京都スタッフの方々は、開催ギリギリの案内にも関わらず各担当を快く引き受けてくださった事、心から感謝しています。

基調講演は、元精華大学学長のウスビ・サコ先生をお迎えし、サコ先生を中心とした若手建築士とのトークセッションとしました。サコ先生は、マリ共和国生まれでありながら流暢な関西弁をお話しになり、著書でも時折笑いを誘うユーモアに富んだお人柄です。若手建築士は、大阪からSPACESPACCE一級建築士事務所の岸上純子さん、滋賀から(株)清水建設工業の清水章智さん、京都から好日舎の中田貴子さんがサコ先生とのセッションを喜んで引き受けてくださいました。

はじめにサコ先生から、専門分野である「空間人類学」の視点から、コミュニティの変容を見据えつつ、空間が持つ社会的役割を「人間」と「環境」という大きな枠組みからもう一度問い直すことの重要性和

コミュニティの「コモンズ」と価値創造についてお話しいただき、三重県御浜町や南山城村などの具体的な事例を紹介いただきました。

続いてリレートークとして、3人の若手建築士の方々に登壇いただきました。トップバッターの中田貴子さんは、ガイドスタップを務めている聴竹居のご紹介と心があたたくなる空間づくりをめざした事例を発表されました。清水章智さんには、オリジナルブランドの立上げと事例、住み続けられる地元のまちづくりのお話をいただきました。最後に岸上純子さんは、人と建築が環境と関係をつくる、建築に人を巻き込む事例として、事務所のある中津商店街での取り組みを紹介してくださいました。

その後のサコ先生と三人の若手建築士によるトークセッションは、進行をサコ先生にお任せし、「人」と「建築」との関係性についてや「現在」と「過去」をつなぐものはなにかということ、地元の価値や課題の見つけ方や建築をつくるときのコミュニケーションのとり方について各人自由に語っていただきました。さらに、それぞれの視点からのSDGsやこれからの展望を語っていただきました。その中でも、建築士に求められることは、人々が出会いに関わりあえる場をつくることと共に人々をつ

なぐファシリテーターとしての役目を果たすことであり、私たち建築士が住み続けられるまちをどう創っていくのかということについての活発な意見交換は特に興味深く拝聴しました。

十分な打ち合わせをしたとはいえない状況下で、『住み続ける『まち』と『すまい』(SDGs+住文化の持続可能性)』という大会テーマに基づくトークセッションで三者三様のご意見を巧みに引き出してくださいましたサコ先生と、それに応えてくださったご登壇者の方々は、流石としか言いようがありません。サコ先生にはマリ時間が流れており、本番にも約束の時間には到着されずご登壇者の皆さんと一緒にハラハラドキドキしましたが、到着された先生の笑顔を見ると、すうつと緊張がほぐれ心配顔がみんな笑顔になりました。先生の持ついらつしやる何とも言えない安心感と心地よさゆえです。

タイムなタイムスケジュールの中でゆつくりとお話しただけなかったサコ先生の講演の続きは、改めて京都府建築士会で催せればと思います。このトークセッションの詳細は、年度末発刊予定の創立70周年記念誌に掲載予定です。合わせてご覧ください。

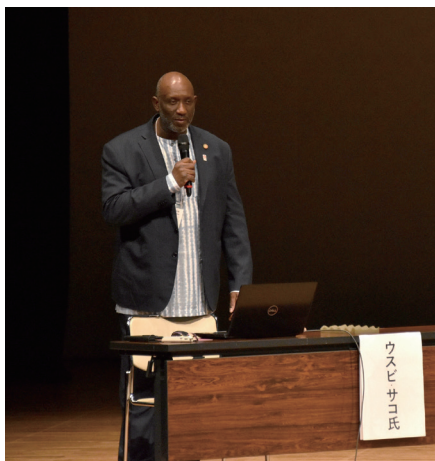
(文責/渡邊えみ)



トークセッション：左より清水章智さん、岸上純子さん



トークセッション：左よりウスビ・サコ先生、中田貴子さん



ウスビ・サコ先生による基調講演

「建築・SDGs」という共通分野の中で育つこと・育てること」をテーマに、各分野のゲストとテーマ「SDGsに関連した2030年の自分の未来像や30年後の地域や取組」についてのシンポジウムを開催しました。

最初に、地域を育てる活動をしている日暮手傳舎・吉田玲奈氏、人を育てる建築科教諭、和歌山工業高校・坂東大介氏よりお話を聞かせていただき、その後は、今まさに育ちの最前線にいる大学生や専門学生からの発表、さらに、建築士を交えてトークセッションを行いました。トークセッションでは働き方改革や仕事の多様性などのキーワードもでる中で参加者も含めて、地域をどう育てていくか、自らはどう育つていくかを考える契機となったのではないかと思います。

セッションを通じて、30年後の地域をよくするために、10代から30代が何かしなければならぬという危機感を持たれているように感じました。

地域のつながりをつくるために、「祭り」が地元を知るきっかけとなっているように感じます。また、デジタルを使うことは、今まで知りえなかった人と知り合い、多くの人とつながることができる非常に重要な手段だと考えます。

人との繋がりが持てて、子育てを安心してできる環境をつくるのが、地域をよくすることにつながると多くの人が認識しています。それを実践する方法には、一人一人の考えがあり、よくするという発想の下で一致団結する必要性を感じました。

(文責／小島康寛・秋山哲平)

女性部会セッション

パネル展示 映像展示

近畿建築士会協議会女性部会では、これまでの活動を紹介する目的で、『近畿の魅力ある和の空間』のパネル展示、映像展示、冊子の頒布、『全建女30周年記念事業』で作成したパネルディスカッションの展示、第5回までの『くらしとすまいをみつめるセミナー』の映像展示を、会場1階ロビー

の休憩スペースにて実施しました。

大会式典が始まる前と昼休憩の時間帯には多くの参加者が立ち寄り、休憩スペースということもあり、そこで昼食を食べるなど自然と人が集まる空間となりました。

また活動協力を募り冊子を頒布したところ、声をかけた全ての方が快く寄付をし

てくださり、その日47冊を頒布し26、834円の寄付が集まりました。短い時間でしたが、多くの参加者に近建女の活動を紹介することができました。

(文責／堀尾智子)



「Aコース」 柳谷観音と長岡天満宮

今回、近畿建築祭のエクスカージョンで、私達梅鉢園がお世話しています長岡京市の柳谷観音楊谷寺を案内しました。紅葉も丁度良いタイミングで心配されたお天気も崩れることなく、参加者の方と共に錦秋を楽しむ事ができました。山間のお寺ですので機会がないとなかなか訪れることも少ないかと思しますので、貴重なきっかけになりました。

私たちが整備していく際の注意点や、歴史の時間軸や地域のランドマークとしての役割、1200年の歴史を後世へ継承していく事への課題等をご説明しましたが、み



なさん興味深く解説を聞いていただけました。

次にご案内しました長岡天満宮も私たちがお世話しています関係上、自然災害やコミュニティハブの在り方、様々なレイヤーでの取り組み方、オーセンティックな評価など、ご紹介させていただきました。今回建築士会の活動を通して、地域の宝をご紹介でき様々な縁ができた事が非常に良かったです。

(文責／梅野星歩)



「Bコース」 光明寺と長岡天満宮

近建祭京都大会の会場に程近い長岡天満宮と光明寺を散策するエクスカージョンBコースは、参加者18名に加え、独自でバスを仕立てて近建祭に参加された和歌山県建築士会の皆様と、付かず離れずのコース設定で共に各所をまわりました。

詳細でわかりやすい説明で案内していただいた観光ボランティアガイドの方々は、地元愛と誇りがあってこそと、感謝にたえません。

絶好の紅葉の季節、そして土曜日と言うこともあり、もみじ参道で名高い光明寺は、どれほどの観光客かと身構えたものの、たおやかな西山の麓に位置する境内をゆっくりと散策することができました。総門から



女人坂で記念撮影

は「女人坂」と呼ばれる広くゆるやかな石畳の階段を登り、すっと開けた境内を阿弥陀堂へ。御影堂で手を合わせ「信楽庭」への階段の回廊を通り、釈迦堂へと巡ります。最後の充実したお土産のコーナーでは、財布の紐も緩みがちの様子でした。再び外へ出て薬医門へとつづくもみじ参道を愛でながら総門へ。この季節だけの特別公開もあり、参加者の皆様には日頃の忙しさをしばし忘れる時間を過ごしていただけたならばスタッフとして嬉しい限りです。

マイクロバスで近建祭会場の長岡京記念文化会館まで、何事もなく無事戻ることができたことがなによりでした。

(文責／松田容子)



光明寺の回廊を巡る

「Cコース」 長岡京・西国街道を歩く

Cコースは長岡京の古墳や城址等をボランティアガイドの方に案内していただき、西国街道を歩きました。

勝龍寺城土塁空堀跡は、戦国時代勝龍寺城が北側からの攻撃に備えるため、土塁・空堀が築造されたものだそうです。以前は竹藪で覆われていましたが、現在は遊歩道を設けた神足公園として整備され、現存する貴重な遺構となっています。

明智光秀の娘・玉（細川ガラシャ）が細川忠興に嫁ぎ2年間この城で過ごした勝龍寺城は、安土城より早く、瓦・石垣・天主を備えた、当時最先端の城だったそうです。城跡に造られた勝龍寺城公園は市民の憩いの場になっており、ちょうど紅葉も見頃でした。

恵解山古墳は5世紀前半に築造された乙訓地域最大の前方後円墳で、2014年に古墳を復元し、恵解山古墳公園になってお



勝龍寺城公園

り、地元の子供たちが古墳の周りで遊んでいる姿がとても印象的でした。

中山修一記念館は「長岡京発見の父」とも呼ばれる中山修一氏の発掘調査研究の成果を収蔵しており、施設の方に長岡京の歴史についてレクチャーしていただきました。

神足ふれあい町家は、西国街道沿いに建つ江戸時代末期の商家を長岡京市が取得し、長岡京の文化を発信する交流の場としてリノベーションされています。喫茶室や観光物産コーナーは多くの人で賑わっていました。

今回、参加者からも多くの質疑があり、長岡京の歴史や文化について知る良い機会になりました。

（文責／江坂幸典）



恵解山古墳公園での集合写真

「Dコース」 歴史的建造物のデジタルマッピング

「西国街道・歴史的建造物のデジタルマッピングまちあるきと旧中野邸の保存活用の見学会」のDコースでは、西国街道周辺をグループ毎に散策しながら未指定の歴史的建造物を見つけ出し、グーグルマップに、外観写真と推定建築時期、構造、劣化状況など災害時の支援にも役立てることを想定した情報を、スマホで入力するデジタルマッピングの体験をしていただきました。初めての操作に戸惑いながらも、西国街道の歴史や魅力を感じながら建物を考察するま

ち歩きました。

「神足ふれあい町家」「なかの邸」では、それぞれ改修に携わった京都府建築士会のメンバーが、建物の価値と保存活用、改修方法について担当者ならではの解説を行いました。

なかの邸見学の後は座敷をお借りして、和歌山県建築士会さんが取り組まれている

「歴史的建造物データベース」についてや、京都府建築士会の「寺院周辺の防災に関する勉強会」についての報告、当日のデジタルマッピングの結果報告などを行い、自身が参加したグループ以外でどのような建物があったかも確認できました。意見交換ではデジタルマッピングを自分の地域でするにはどうしたら良いかなど、積極的な質問も多く聞かれ、今後の歴史的建造物の防災について各府県それぞれが考え、話し合える機会となったことと思います。今回はかなりの距離を歩きましたが、皆さんのご協力により事故もなく終わることができました。

（文責／遠島和恵）



恵解山古墳集合写真



なかの邸の様子

住宅まわりの『中間領域』の実態について —子育て世帯の利用に関する調査から

森重幸子



もりしげ・さちこ

京都美術工芸大学工芸学部教授

(株)設計組織アモルフ、建築設計事務所主宰、京都大学研究員、武庫川女子大学講師を経て現職

専門／建築計画、住宅計画、地域計画

1 はじめに

『中間領域』とは内と外が重なり合う領域であり、屋内外、および公と私の内外の両義性をもつ。中間領域は、気候の変化や、都市における住宅の高密度化などに対する伝統的な住まいの知恵として生み出され、和の居住文化が表出する場でもあった。屋外の居住行為や人と人との交流の場などとして利用されてきたが、現代では住宅の閉鎖化や屋内空間重視の傾向により縮小されがちである。

筆者を含む研究グループ^{注)}では、中間領域が、特に幼少期の子を持つ世帯にとって、屋外の行為や身近な遊び場、近隣世帯との交流の場として有用ではないかという仮説のもと、子育て世帯による中間領域の利用実態および評価を把握することを目的として、子育て世帯を対象とするアンケート調査を行った。12歳（小学生に当たる年齢）以下の子どもと同居する保護者を対象としたインターネットによるアンケート調査で、回答者数は2068である。住宅の建て方による中間領域の差異を見るため、戸建・長屋建住宅と、共同住宅の回答者数を半数ずつとした。

2 自宅まわりの中間領域空間の有無と行為

まず、現在居住中の住宅に中間領域に該当する空間があるかどうかを聞いた。具体的には、土間、縁側・濡れ縁・サンルーム、玄関ポーチ、玄関前アルコーブ、庭、バルコニーを中間領域として提示した（図1）。玄関土間はほとんどの住宅にあり、広さは1畳程度以下が全体の3分の2を占めた。玄関土間以外で最も多かったのは、バルコニーと、玄関ポーチ・玄関前アルコーブで、それぞれ約55%の割合で存在した。次に、庭が34%の住宅にあり、縁側・濡れ縁・サンルーム、玄関土間以外の土間はいずれも20%未満だった。

中間領域に当たる空間がある割合を建て方別に比較したところ、戸建・長屋建住宅と共同住宅で差が見られた。バルコニーのみ共同住宅において少し多く存在し、バルコニー以外の項目は、戸建・長屋建において多く存在した（図2）。玄関土間以外に該当する中間領域がない、とした回答は共同住宅で約20%あり、戸建・長屋建に比べて高い割合を示した。中間領域での行為として考えられる12の

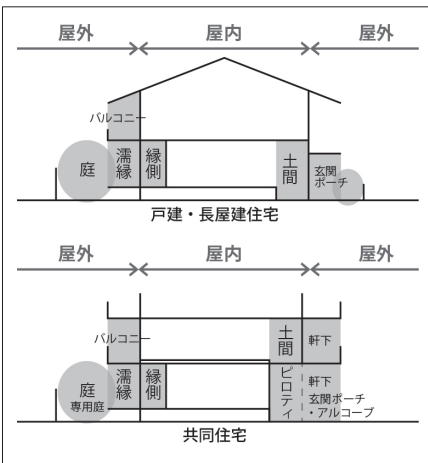


図1 アンケートにおいて中間領域として提示した空間

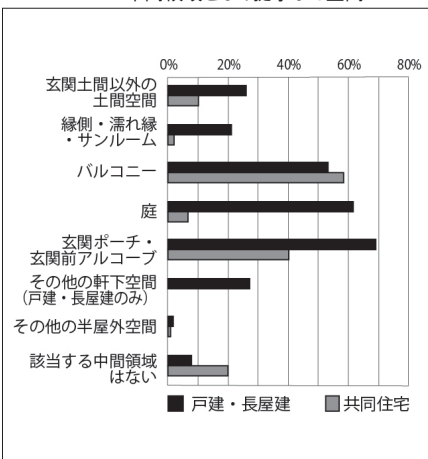


図2 中間領域にあたる空間が自宅にある割合 (各n=1034)

行為を挙げ、それらを住宅の敷地内（または専有部内）のどこで行っているか、上位3位までを回答してもらった（図3）。行われている行為の件数で最も多かったのは簡易な接客で、「玄関土間」「玄関ポーチ・アルコーブ」で行われていた。洗濯物や雨具等を干す行為は、「バルコニー」「玄関土間」で行われていた。ゴミやアウトドア用品、ベビーカー、自転車などの物を置く場所としては「玄関土間」が多く、その他の中間領域空間も少し使われている。植物を育てる、大工仕事等の土や水を使う作業は「庭」「バルコニー」で少し多く見られた。体操・運動、大きな飾り物は中間領域ではなく住宅の室内で行われており、外気に当たった体の休憩・食事は行為自体があまり行われていない。空間ごとに見ると、「玄関土間」「ポーチ・アルコーブ」は簡易な接客、「縁側等」「バルコニー」は物の干し場、「庭」は土や水に

表1 アンケート調査概要

方法	インターネットアンケート調査
調査委託先	株式会社マクロミル
実施日	2020年1月27日～29日
対象者	小学生以下の年齢の子どもと同居している保護者
有効サンプル	2068

表2 回答者の属性

男性	140 (6.8%)	25~29才	246 (11.9%)
		30~34才	549 (26.5%)
女性	1928 (93.2%)	35~39才	613 (29.6%)
		40~44才	460 (22.2%)
n=2068		45~49才	200 (9.7%)

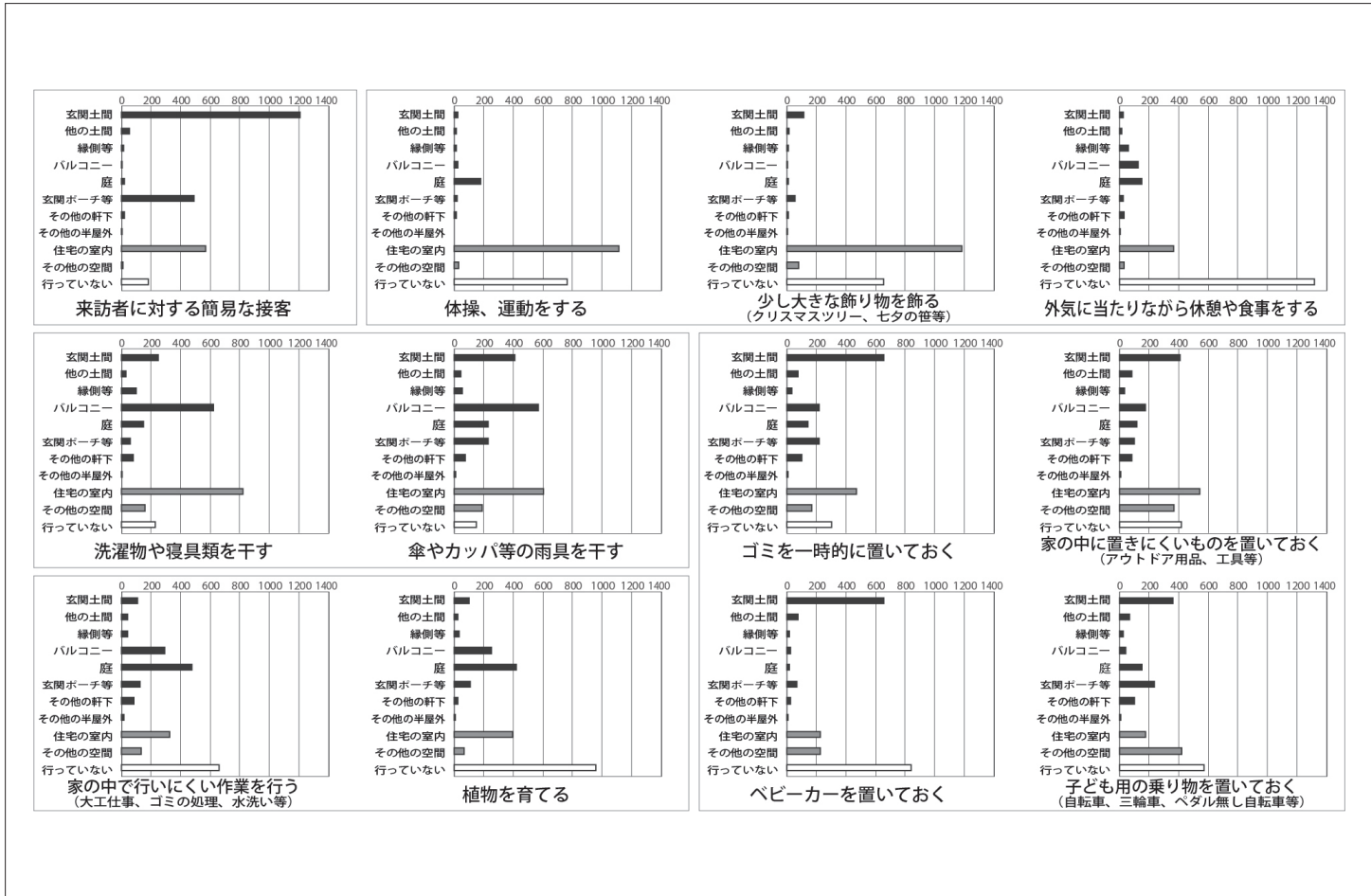


図3 各行為を行っている場合の場所ごとの件数 (n=2068、複数回答)

関する作業場としての利用を中心としており、それぞれ他の行為にも少しずつ利用されている。「玄関土間以外の土間」「その他の軒下空間」は、比較的多様な利用が行われている。

戸建では庭が6割の住宅にあり、その他多様な中間領域が存在するが、共同住宅ではバルコニーと玄関前アルコーブに限定されている。利用は空間特性に対応して行われている様子が見られたが、休憩や食事は少ない。「玄関土間以外の土間」「その他の軒下空間」があると、多様な利用を受け止められる可能性がある。

3 欲しい中間領域と欲しい理由

現在居住中の住宅には無い空間について、欲しいと思うかどうかを聞いたところ、「縁側等」が約4割、「玄関ポーチ・アルコーブ」が約3割、その他も2割程度、欲しいという回答があった。「縁側等」は戸建・長屋建で割合が高く、「バルコニー」「玄関ポーチ・アルコーブ」は共同住宅で割合が高くなっていた(図4)。「欲しいと思う空間はない」という回答は全体で34%であり、残りの3分の2については、いずれかの空間が欲しいというニーズがあると言える。

欲しい理由は、「土間」と「玄関ポーチ等」について物を置く場所として、「縁側等」と「庭」について物を干す場所としてが多く、「縁側等」「バルコニー」「庭」「その他の軒下」については、子どもの遊び場および休憩などの生活空間として、という理由も多く挙げられていた。

中間領域での行為として図3で挙げた12の各行為について、行為自体を「行っていない」とした回答者に対し、行う必要がないのか、できないのかを聞いたところ、「ベ

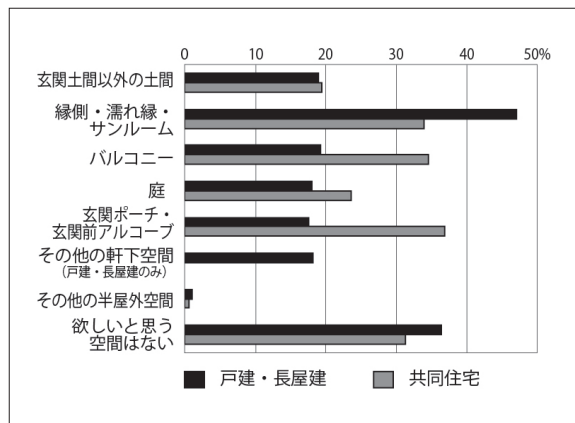


図4 現在自宅にはない空間について、欲しいと思う割合

ビーカーを置いておく」以外の11項目で、「行いたいができない」との回答が3割から4割だった。さらに、できない理由について「時間がない」「空間がない」「その他」を複数選択で聞いたところ、「空間がない」を選択した割合は、「体操・運動」のみ5割を少し切るが、それ以外の項目では約6割以上となっていた。「空間がない」とした割合を建て方別に比較すると、全ての項目で共同住宅のほうが戸建・長屋建の割合を上回っており、「体操・運動」「植物を育てる」「休憩・食事」「大工仕事」「大きな飾り物」では有意な差があった。

以上より、現在には無い中間領域について、ある程度のニーズがあることが分かる。欲しい理由としては、子どもの遊び場、物を置く場所や干す場所、休憩等の生活空間、という回答が見られた。また、それらの行為を現在居住中の住宅の中間領域で行っていない回答者について、できないから行っていない、空間がないからできない、という状況があることがわかった。

4 子どもの遊び場としての 中間領域の利用状況

現在居住中の住宅にある中間領域について、子どもの遊び場として使っているかどうかを聞いたところ、中間領域で遊ぶことはない、という回答が全体で6割を超え、特に共同住宅では8割を超えていた。遊び場として利用している件数が多かったのは「庭」で、庭がある住宅のうち約6割で子どもの遊び場として利用されていた。その他の中間領域の遊び場としての利用は「縁側・濡れ縁・サンルーム」で2割程度であり、件数割合ともあまり多くない。「その他の半屋外空間」は25件のうち17件で遊び場として利用されており、自由記入によると、具体的には、駐車スペースが6件、屋上が3件、バルコニーまたは庭に該当すると推定されるものが6件、店という記載が1件、不明が1件だった。

遊び場として利用している件数を建て方別にみると、戸建・長屋建における「庭」だけが突出し、共同住宅では全般に少ないことが見て取れる(図5)。共同住宅は庭のある住宅自体が少なく、庭を遊び場として利用している割合も低かった。庭以外では、「バルコニー」のみ、戸建・長屋建よりも共同住宅で、遊び場として利用している件数割合ともに多かった。

否定的な考え方に對して、自身の考えを答えてもらった(図6)。

肯定的な考え方に對しては4割程度が「強くそう思う」とし、「ややそう思う」も含めると9割程度と、高い割合で共感する回答が得られた。否定的な考え方に對しては1割程度が「強くそう思う」とし、「ややそう思う」を含めると「危険や汚れの心配」については4割、「周辺への迷惑」については6割程度が同意した。

現状の子育て世帯の住宅の中間領域は、子どもの遊び場としての利用は多いとは言えず、利用されているのは戸建・長屋建の「庭」に集中している。共同住宅では全般に中間領域空間の存在自体が少なく、遊び場としての利用も少ない。一方で、子どもの遊び場としての中間領域に対する考えでは、安全性や周辺との関係性に対する慎重さも見られるものの、肯定的な評価が多く見られたと言える。

5 子どもの遊び場と空間ニーズ

住宅の敷地内に限らず、「子どもが普段遊んでいる場所」を複数回答で答えてもらった結果が図7である。また、普段遊んでいる場所の中で、「子どもが最もよく遊んでいる場所」についての回答を図8に示す。複数の同居の子がいる場合は、末子についての回答としている。どちらも戸建と共同住宅で差が見られた。戸建では、普段の遊び場について「住宅の敷地内」と「近隣の公園」がほぼ同数で、最もよく遊んでいる場所は「住宅の敷地内」だった。一方で共同住宅は、普段の遊び場として「近隣の公園」が最も多く、「商店街やショッピングモールなどの施設」が「集合住宅の敷地内」を少し上回っていた。共同住宅で「最もよく遊んでいる場所」として最も高い割合だったのも「近隣の公園」で、戸建とは異なる傾向を示している。

次に、「三輪車、ストライダー、自転車に乗る」「簡単な運動(縄跳び、素振りなど)」「ビニールプール、水遊び」「花火」という具体的な4種の外遊びについて聞いたところ、行っている割合は4種とも戸建の方が高かった。特に「ビニールプール、水遊び」と「花火」で戸建と共同住宅との差が大きく、戸建では「水遊び」を約半数が行っているのに対して共同住宅では17%、「花火」は戸建で4割弱が行なっているのに対して共同住宅で1割未満となっている。図9は設問の4種の外遊びを行っているとした回答者の、遊んでいる場所の回答を、戸建と共同住宅に分けて示したものである。戸建では、「三輪車・ストライダー・自転車」と、「簡単な運動」の2種については、「周辺の道路」および「近隣の公園」が多くなっている。「簡単な運動」「プール・水遊び」「花火」については、戸建では屋外の庭での件数が多くなっており、庭以外の中間領域で

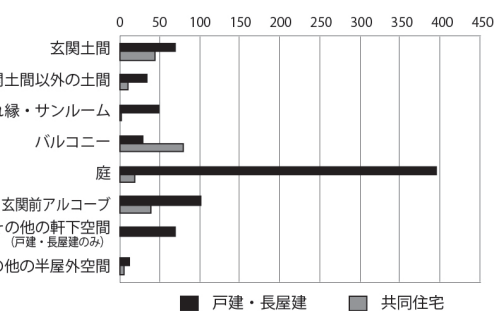


図5 子どもの遊び場として使っている中間領域

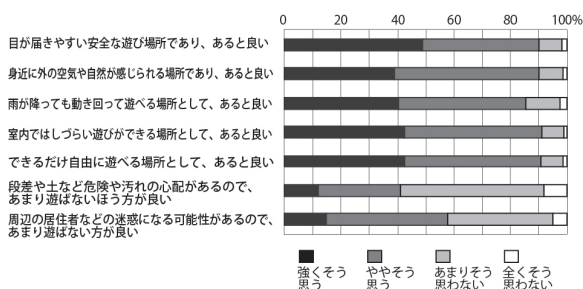


図6 子どもの遊び場としての中間領域に対する評価

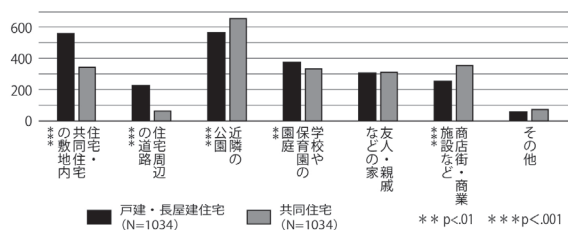


図7 子どもの普段の遊び場

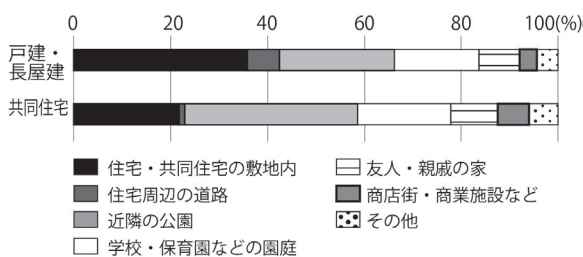


図8 子どもが最もよく遊んでいる場所

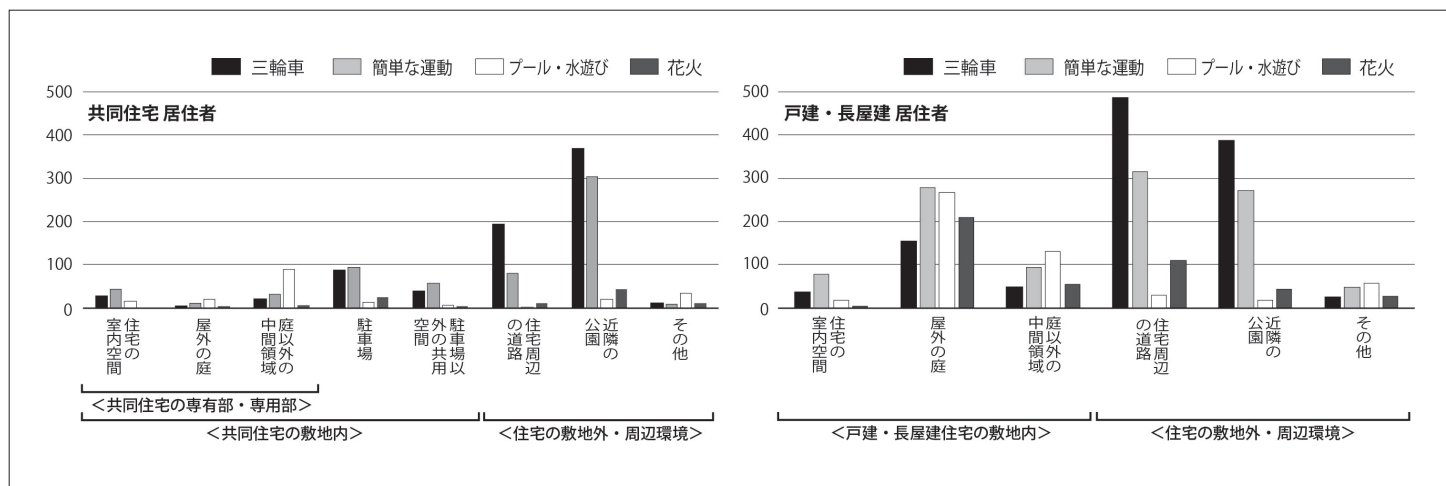


図9 4種の外遊びを行っている場合の場所ごとの件数
(左：共同住宅、右：戸建・長屋建居住者)

行うとした回答も少し見られる。対して共同住宅では、「三輪車・ストライダー・自転車」および、「簡単な運動」について、「近隣の公園」で行うとした回答に集中しており、他には、「三輪車・ストライダー・自転車」に対して「周辺の道路」とする回答がやや多いという程度であった。共同住宅で専用庭をもつ数自体が少ないため、4種のいずれの遊びについても、庭で行うとした回答は非常に少ない。庭以外の中間領域もそもそも少ないが、「プール・水遊び」に少し使われている。

共同住宅内の共用空間である「駐車場」は、「三輪車・ストライダー・自転車」や「簡単な運動」に少し利用されている。「駐車場」以外の共同住宅内の共用空間として、共用廊下、階段、エントランスロビー、キッズルームや交流室といった共用室、共用の庭、共用の屋上といった選択肢も挙げて聞いているが、遊び場としての回答は少なかった。各外遊びを行っていないとした回答者に対して、できる場所があればやってみたりやらせてあげたいと思いますかと聞いたところ、各遊びについて、全体では34～39%の回答者ができれば行いたいと回答しており、戸建・長屋建居住者より共同住宅でその割合は高かった。市街化の進んだ立地にある割合が戸建よりも高い共同住宅において、住宅まわりの中間領域の数と種類も少ないことから、遊びのニーズを受け止めることのできる空間が大きく不足している現状が明らかになった。

6 おわりに

都市化の進行に伴い、まちの中の子どもの遊び空間が減少しているという問題は、早い時期から何度も繰り返し指摘されてい

る。しかし近年は、子どもに関する施設や空間を迷惑施設視するような社会風潮が一部に存在しており、まちの中の子どもの遊び場は、改善されるどころかますます厳しい状況に置かれていると言わざるを得ない。公園や緑地といったオープンスペースが、まちの中の子どもの遊び場として豊かに存在することは、子どもだけでなく大人も含めた社会全体にとって有益であるというコンセンサスを高め、実現していく方向性が重要である。道に關しても、路地のような生活空間としての生活道路の位置付けを強めることには、子どもの遊び空間という点のみならず、顔の見える地域社会の形成という広い視点からの意義を認めるべきである。

一方で今回のアンケートにおいて図1として示した住宅まわりの中間領域は、住宅の建築計画のレベルで対応が可能である。プライバシーを重視する価値観や、環境制御された屋内空間を志向する価値観からは、中間領域は価値の低いものとみなされる。しかし、生活空間としての中間領域の利用価値は非常に大きい上に、コロナ禍を経験する中で、住宅まわりの屋外的な空間の重要性はますます高まっている。特に中間領域が不足している共同住宅では、子どもの遊びも含めた多様なライフスタイルの生活行為を受け止める場として、計画的な工夫の余地が大きく残されていると言える。



写真1 市街地内の中間領域と云える路地



写真3 住戸の間口いっぱいに設けられた玄関土間
〔「中京・風の舎」写真提供：加茂みどり〕



写真2 共用廊下に繋がる
外土間と内土間
(実験集合住宅NEXT21
「余白に棲む家」
写真提供：大阪ガス㈱)

●謝辞

分析対象としたインターネットアンケート調査は、JSPS科学研究費補助金(課題番号17H01309、2017～2020年度基盤研究(A)「少子高齢社会に対応した子育て支援環境の構築と実装に関する研究」)の助成を受けて実施したものです。

●注) 子育て支援・住環境システム研究会(2017～2020年度基盤研究(A)「少子高齢社会に対応した子育て支援環境の構築と実装に関する研究」主査/高田光雄)内の「既存都市環境・コミュニティ」WG(幹事/森重幸子)

- 参考文献 1 高田光雄、森重幸子、加茂みどり、趙賢株：住宅内における中間領域の有無と利用状況—子育て世帯による「中間領域」の利用と評価に関する研究—その1—、日本建築学会大会学術講演梗概集、建築計画、pp.53-54、2020.09
2 森重幸子、高田光雄、加茂みどり、趙賢株：住宅内の中間領域の子どもの遊び場としての利用状況およびニーズ—子育て世帯による「中間領域」の利用と評価に関する研究—その2—、日本建築学会大会学術講演梗概集、建築計画、pp.55-56、2020.09
3 中間領域における子どもの外遊びの状況—子育て世帯による「中間領域」の利用と評価に関する研究—その3—、日本建築学会大会学術講演梗概集、建築計画、pp.773-774、2022.07

2022

3/19

Sat

青年部会 地域実践活動担当会

街歩き、黄金比を探せ。

中田 哲

【実施場所】

京都市太秦トキワ荘周辺

【結果報告】

近現代の工業製品には黄金比が多く、寺社仏閣のモジュールには白銀比が多く見られました。寺社仏閣でも空間の比率としては黄金比が現れることも多くありました。

街中のふとした風景の中（例えば建物と

路地の比率等）にも黄金比や白銀比が現れることもあり、美しいと感じた風景の中に比率を見つけることを目的としても、街歩きイベントとして面白いものになりそうでした。

一般参加者にとっても、建築に興味がある人はもちろん、写真に興味がある人などにも面白いイベントになる可能性を感じました。



2022

4/9

Sat

団地再生研究会

集合住宅の長期マネジメント計画
意見交換会

能戸 謙介

【実施場所】

NPO法人マンションセンター

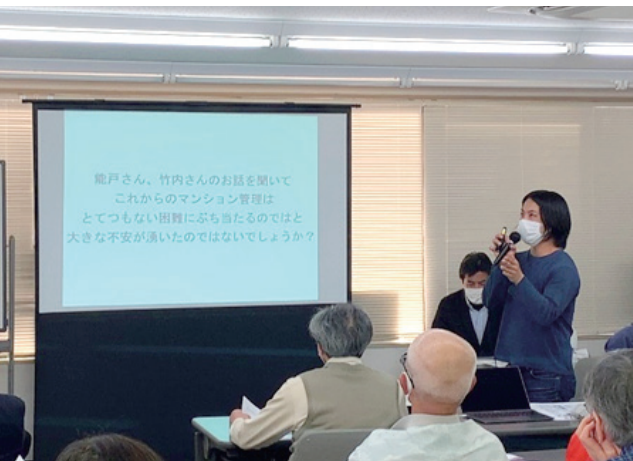
京都セミナールーム

【結果報告】

男山団地の再生に関わられた辻村氏と団地再生研究会のメンバー2人がそれぞれ、「男山団地・地域再生の取り組みについて」「元氣な自主管理応援団」「長期修繕計画を乗り越える新たな管理のプログラムを」と題した講演を行い、その後、意見交換会を

行いました。

当日は京都市の住宅政策課の方も参加され、昨年の9月から受付を始めている「管理計画認定制度」について、会場からの質問に答えていただきました。「管理計画認定制度」のスタートは、マンションの淘汰につながるの意見もあります。いい意味でとらえるなら、高齢年マンションの管理組合が建物の維持管理だけでない取り組みを始める機会になると言えます。



お知らせ

(一社)京都府建築士会 入会キャンペーン

期間：令和5年2月1日～5月31日

会員厚生委員会

このたび標記期間に入会キャンペーンを実施いたします。

特典のあるこの機会に、是非多くの建築士の方に建築士会への入会をお勧めください。

入会していただくと

- 毎月会報誌が2冊届きます。《京都だより(京都版)・建築士(全国版)》
- 勉強会・見学会に会員価格で参加できます。
- 委員会・部会・研究会・同好会活動に参加・運営できます。
- 地域まちづくりに関する調査・研究・提案・実践・支援等に参加できます。
- 建築士会CPD(継続能力開発)制度に登録します。
- (公社)日本建築士会連合会の建築士賠償責任補償制度、工事賠償責任補償制度に加入いただけます。
- イベントのご案内や行政情報など最新の情報をメールでお届けします。
- 提携専門店での会員割引優待制度があります。

- 入会金・会費は次のようになっています。

正会員(建築士免許をお持ちの方)	準会員(これから建築士になろうとする方)	賛助会員
入会金：2,000円	入会金：1,500円	入会金不要
会費(月額)：1,500円 会費(年額)：18,000円	会費(月額)：1,300円 会費(年額)：15,600円	会費(年額)：一口 36,000円

キャンペーン期間中に入会された方には特典として、
入会金(2,000円)が免除されます。

入会者のご紹介は、下記会員紹介書をご記入いただき事務局までFAXでお送りください。
追って入会申込書を送付致します。

(一社)京都府建築士会 会員紹介書

FAX:075-255-6077

入会者を紹介します。

- 会員氏名
- 連絡先TEL

入会者

- お名前

- 入会申込書送付先
〒

※ご紹介いただきました個人情報は、個人情報保護法に基づき適正に管理いたします。

お知らせ

会費納入方法の変更について

(一社)京都府建築士会

(一社)京都府建築士会では、会費納入におけるさらなる会員サービスの向上・業務効率化を目指し、会費納入方法について、「日本システム収納株式会社」を利用した新たな「口座振替方式」制度を導入しております。

新制度のポイント

- ① これまで、口座振替の取扱金融機関が限られていましたが、ゆうちょ銀行やJAバンク、さらには新生銀行・ソニー銀行・楽天銀行など、約1200の金融機関のご利用が可能です。
- ② 口座振替手数料は、本会が負担いたします。
※現在、口座振替をご利用でない方も、この機会に是非お手続きください。
※舞鶴支部、丹後支部の会員様におかれましては、今まで通り支部で徴収いたします。

新制度への移行の流れ

詳細は当会ホームページをご覧ください。

- ① 2021年5月に、新制度のご案内、『口座振替依頼書』他一式を、郵便にて発送完了しております。
※現在、口座振替をご利用の方も再度(新)制度用の『口座振替依頼書』の提出をお願いします。
※『インターネット口座振替受付サービス』もご利用いただけます。
- ② 依頼書をご提出、またはネットでお手続きいただいた方から、随時、口座振替の手続きをいたします。
(手続きが完了するまでは、従来のお支払い方法にてご案内いたします。)
- ③ 手続き完了の後、振替予定日(7月・12月の22日/金融機関休業日の場合は翌営業日)の3日前までに『口座振替ご案内はがき』をお送りします。
※従来の請求書の代わりとさせていただきます。

【青華 伊東豊雄との対話】

建築家・伊東豊雄との二年にわたる対話集。

諏訪湖の畔で育った幼少期から現在に至るまで、出会った風景や建築、触れた言葉を通して、これからの建築の可能性を探る。撮り下ろしの冬の諏訪湖の写真とともに。



著者：大西麻貴
発行：o+h books
定価：4,000円(税込)

大喜書店

京都市下京区麩屋町五条上ル下鱗形町563番2
TEL：075-353-7169
OPEN：12:00～18:30 水曜日休
(土・日・祝日は11:00～)
京阪・清水五条駅から徒歩5分

装丁が美しい本を置くのが、うちの書店のモットーですが、残念ながら建築関係の本は、洋書を除いて、なかなか美しい本にお目にかかれないのが実情。買いたい本、捨てられない本を目指して、デジタル書籍に対抗するには、質感や装丁というアナログ感が何より重要だと思いますが、建築系出版社でない出版社のほうが、このあたりの感覚は鋭いようです。ドイツのアート系の出版社や、ビーター・ズントーの本を出しているみずす書房、青幻舎、アノニマ・スタジオなどが素敵な建築の本を出さないかと期待しながら、いつもネットをチェックしています。

最近、小さな出版社や個人が、本を出版することも多く、インスタグラムで、うちの店主が検索していて、o+hの大西麻貴さんの本を見つけてきました。今時珍しい、函入り本。函とはケースのこと、よく昔、百科事典や専門書など高価な本は、グラシン紙に覆われて函に入っていましたよね。「青華」は、伊東豊雄氏のお父様の俳号なんだとか。布貼の製本で、本の小口の一面に銀の天金加工が施された装丁は、本を制作して出版まで手がけたo+hのこだわりが、内容とともに良く表されています。懐かしくて、大切にしたい本です。

(大喜書店 岡田良子)

「京都だより」作品紹介ギャラリー

あなたの作品を広く紙面で紹介してみませんか？

本会では会誌「京都だより」に、会員の作品紹介ページを設けています。
建築、インテリア、ランドスケープなど、みなさまの個性あふれる作品をお待ちしております。

掲載に関して

- 募集対象は（一社）京都府建築士会会員が設計もしくは施工に携わったものとします。
- 掲載料は無料ですが、広報編集委員会にて選考の上、掲載させていただきます。応募作品多数の場合等は、掲載できないこともありますのでご了承下さい。
- 写真の撮影者名は必ず付記願います。写真に著作権等が生ずる場合は、応募者にて対応願います。
- 掲載頁数は原則として1頁とします。
- 建物の特徴や特殊な事柄については簡単な補足説明をお願いすることがあります。
- 作品の掲載順及び紙面レイアウトを含む全体の構成は広報編集委員会にて担当します。
- 概要及び説明文はメールで送付願います。

提出資料

- 写 真／外観、内観等 3、4 枚。
画像解像度 400 dpi 以上推奨。
デジカメ撮影の場合は1メガバイト以上を目安。
プリントの場合は 2L サイズ程度。
- 図 面／平面等 1、2 枚。
画像解像度 1200dpi 以上推奨。
- 概 要／作品名称、所在地、建築主、設計者、施工者、用途、工期、建築面積、延床面積、構造規模。
- 説明文／作品に関する考え方を400字以内にまとめてください。

原稿期日及び送付先

- 期 日／毎月25日
- 送付先／（一社）京都府建築士会事務局
「京都だより 作品紹介」係

編集後記

私は仕事柄出張が多く、首都圏以外にも日本全国に出向きます。

その時に楽しみの一つとしてその地方のメジャー建築を見学していて、ここ数年は主に戦前から70年代までのモダン建築を中心に見学しています。

地方には高度経済成長時代のメジャー建築家設計の公共施設が数多くあり、設計的な制約が少ないことから冒険的な建物が多く、また時代的に伝統技術を駆使して建てられ職人技が光る素晴らしい建物が多くあります。

しかし、予算が少ないことから管理が行き届かずに残念な状態の建物も多数みられ、現在の耐震基準を満たしていない、設備が古いなどから、設備更新の名のもとに解体されてしまった建物もあり、それは今も続いています。

SDGsが叫ばれる今日なればこそリニューアルなどで活かしていただきたいと思います。

ここ数年、近代建築weekや京都モダン建築祭、生きた建築ミュージアム大阪(イケフェス大阪)など、モダン建築が注目されてきています。少しでも残していけるように皆さんとともに盛り上げていければと思います。

(沼田俊之)

西国街道から大鳥居をくぐると、向日神社の社殿まで約200mの緩い上り勾配の参道が続く。両脇には桜や紅葉が植えられ、春には桜、初夏には新緑、秋には紅葉が楽しめる。とくに桜の時期は参道を覆う桜のトンネルが形成され見事である。また、数多くの種類の桜が植えられていることも特徴で、さまざまな形や色の違いが楽しめる。

ところで、向日神社の境内の北側にあった「桜の園」をご存知だろうか？「桜守」として有名なのは、佐野藤右衛門と笹部新太郎であるが、佐野藤右衛門が佐野邸なら、笹部新太郎は向日市の「桜の園」であった。

「桜の園」は1934（昭和9）年頃に「桜博士」と言われた植物学者・笹部新太郎が向日神社の北側に土地を取得し、全国から銘木の種や穂木を集めて造園された。笹部はソメイヨシノに席巻されて日本各地の桜がなくなることとを憂い、山桜や里桜など日本古来の品

種の保存とソメイヨシノに代わる桜の品種改良に生涯を捧げた。その数は数万本と言われ、日本一の桜の園と称された。

「桜の園」は1961（昭和36）年に名神高速道路の建設に伴い、土砂採取地に買い上げられ、土砂が採取されて壊され、跡地には向日台団地が造成された。しかし笹部新太郎の想いは向日神社や地元住民に受け継がれ、2013（平成25）年に、向日神社の北側にある元稲荷古墳から向日台団地へと続く坂道沿いに、笹部新太郎ゆかりの山桜80本と荊川桜（しょうかわざくら）など20種・80本が植えられた。

因みに笹部博士は、大阪造幣局の通り抜け、奈良県吉野、西宮の夙川公園や甲山周辺など、各地で桜の管理・指導を行っている。水上勉の小説「櫻守」のモデルであり、研究で集められた桜関連の美術工芸品や研究資料は、白鹿記念酒造博物館付設笹部さくら資料室に寄託保管されている。



向日神社の桜

戸田建設（株）大阪支店建築設計室 林 伸昭

表紙のつづき

発行人 ● 山領 正 編集委員長 ● 黒木要州
堀尾智子 / 松田容子 / 森重幸子 / 矢谷明也

編集委員 ● 加藤正浩 / 徳光都妃子 / 西田敦子 / 沼田俊之 / 橋本光生 /
デザイン ● 松本和子 印刷 ● サンケイデザイン(株)

No.1

他の追随を許さない**唯一無二**の「講習システム」と「合格実績」


令和4年度 **1級建築士 学科・設計製図試験**

【令和4年度 学科+設計製図】
全国ストレート合格者占有率 **No.1 57.9%**

全国ストレート合格者 1,468名中 / 当学院当年度受講生 850名

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受講生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科+設計製図ストレート合格者とは、令和4年度1級建築士学科試験に合格し、令和4年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。(令和4年12月26日現在)

他講習利用者+独学者 当学院当年度受講生



学生/元受講生/提携企業社員/他講習生対象
受験生応援キャンペーンがスタート

¥

合格実績No.1の総合資格学院が
受講料を**大幅に**割引します



◀詳細はコチラ
キャンペーン期間：
令和5年10月31日まで



総合資格学院

スクールサイト

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

コーポレートサイト

www.sogoshikaku.co.jp

建設業界・資格のお役立ち情報配信中 → Twitter ⇒「@shikaku_sogo」LINE ⇒「総合資格学院」Facebook ⇒「総合資格 fb」で検索!

1級・2級 **建築士**構造設計1級建築士
設備設計1級建築士**建築設備士**1級・2級
管工事施工管理技士1級・2級
建築施工管理技士1級・2級
土木施工管理技士**宅地建物取引士****インテリア
コーディネーター****賃貸不動産
経営管理士****京都校**

京都市下京区四条通西河院東入郭巨山町
18番地 ヒラオカビル 6F

TEL.075-253-0481

●京都府知事指定 民間確認検査機関 ●近畿地方整備局長登録 住宅性能評価機関
●近畿地方整備局長登録 登録建築物エネルギー消費性能判定機関

KYOTO ORGANIZATION OF CONFIRMATION & INSPECTION

株式会社 京都確認検査機構

Kind(親切) **Open**(明快) **Certain**(確実) **Immediate**(迅速)

■業務内容：

- 建築確認(事前審査有)・中間検査・完了検査
- 住宅性能評価《設計評価・建設評価》
- 住宅金融支援機構《フラット35(適合証明業務)》
- 住宅瑕疵担保保険取扱《まもりすまい・JIO・あんしん保険》
- 長期優良住宅建築計画(技術的審査)
- 低炭素建築物新築等計画(技術的審査)
- 建築物エネルギー消費性能確保計画(省エネ適合性判定)

■業務区域：京都府全域

■手数料：当社ホームページをご覧ください。窓口で配布の料金表をご覧ください。

●納入は当社受付窓口または銀行振込で。

■営業時間・休業日

- ◆営業時間 午前9:00～午後5:30
- ◆休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・お盆
(年末年始・お盆については事前にホームページなどでお知らせいたします)

〒604-0931
京都市中京区二条通寺町東入榎木町82
宮崎ビル4階

TEL：075-256-8980 審査部
075-256-8981 検査部
075-256-8982 構造部
075-256-8984 評価部
FAX：075-256-8985 審査・構造部
075-256-8986 検査・評価部

●ホームページ <http://koci.co.jp/>
●Eメール sinsa@koci.co.jp

～ご利用をお待ちしております～

契約駐車場(新堀木町沿コインパーキング・市営御池地下駐車場)については駐車券を配布しております。

